事業箇所総合評価シート

【担当課：下水道課】

事業名	補助流域下水道建設事業 吉野川処理区老朽化対策工事	路線名等	吉野川流域 吉野川処理区
箇所名	五條市二見　吉野川浄化センター		

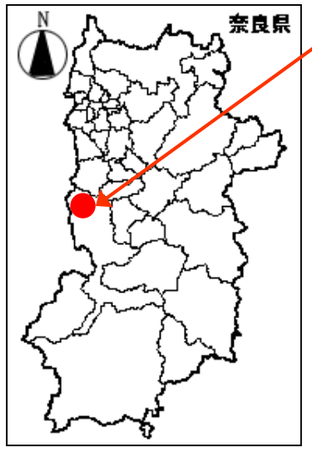
事業の概要	目　的	○吉野川浄化センターの維持管理において、社会や住民に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、予防保全型の管理を行うとともに、計画的・効率的な維持管理の推進を図る。				
	事業内容	○流域下水道長寿命化修繕計画に基づき、更新に着手し、施設の機能回復を図る。 ①第1ポンプ棟コントロールセンタ等更新：主ポンプ設備コントロールセンタ、スクリーン設備コントロールセンタ、自家発設備コントロールセンタ、スクリーン設備補助継電器盤、主ポンプ設備補助継電器盤、自家発設備補助継電器盤、直流電源盤 ②計装設備更新：雨量計、気圧計、気温計、湿度計、風向・風速計、揚水汚水流量計、濃縮汚泥濃度計、初枕汚泥引抜濃度計				
	着手年度	平成30年度	完成年度	平成31年度	全体事業費	285百万円
定性的評価	事業の必要性	○予防保全の観点から、計画的に更新を行うことにより、突発的な設備機能停止を回避 ○「ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定に関する手引き」を用いた下水道施設の健全度調査を実施し、耐用年数が経過した健全度2以下の施設については老朽化対策が必要。				

番号	機器名称	設置年数	経過年数	標準耐用年数	健全度
①	ポンプ棟コントロールセンタ	1991～1995	23～27	10～15	2.00
②	計装設備	1991～2003	15～27	10	2.00

定性的評価	上位計画等	吉野川流域下水道事業計画 流域下水道長寿命化修繕計画
	事業の有効性 （事業により予想される効果及び影響）	○長寿命化修繕計画に基づき、老朽化対策を実施することにより、コストの平準や縮減が図られる。 ○流域下水道の効率的かつ効果的な維持管理の実現が期待できる。 ○流域下水道の処理施設の安定的な運営及び住民に対する下水道サービスの提供が可能となる。
	コスト縮減への取組み	○最新技術を活用した省エネルギー、省コスト施設への転換
	地元情勢等	
	他計画他事業との関連	

評価結果	左　の　理　由
採択	流域下水道長寿命化修繕計画に位置づけられた老朽化対策事業であることから事業実施は妥当である

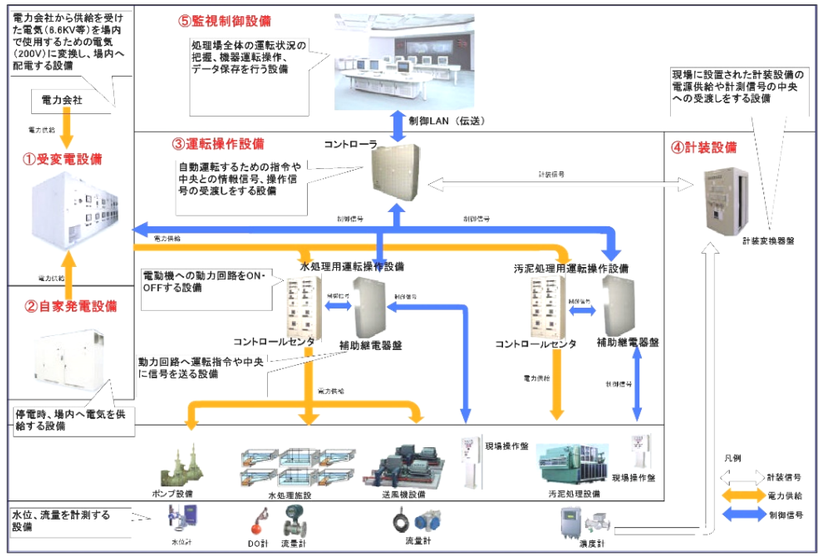
【位置図】



施工箇所（吉野川浄化センター）

国土地理院5万分の1地形図を使用
（承認番号 平18総使、第40-D505520号）

●プラント電気設備



②計装設備更新
C＝48百万円

吉野川浄化センター平面図

①第1ポンプ棟コントロールセンタ等更新
C＝237百万円

②流量計

②雨量計

①第一ポンプ棟コントロールセンタ
・補助継電器盤

②百葉箱（温度計・湿度計・気圧計）